

専門学校赤門自動車整備大学校 2019年度 授業計画 (シラバス)

学科名	一級自動車整備士科				
科目名	新技術				
履修年次	4年次	履修学期	5月	授業形態	講義
総時限	1時限	単位時間数	1.8時間 (0.1単位)		
教科書等 持参品	教科書 (自動車新技術)				
教科担当	・高橋 翔太 ・上田 忠之 ・刈田 稔彦				
目的	日々進化する自動車の新機構・新装備について理解し、最新技術に対応できる自動車整備士を育成する。				
概要	項目				時限
	・新技術 総合				1
到達目標	従来の知識だけでなく一部の自動車のみ採用されている技術についても知識を深め、あらゆるジャンルの自動車について診断・整備ができる人材となる				
使用教材					
成績評価の方法	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～ 0点：1 不合格				

専門学校赤門自動車整備大学校 2019年度 授業計画 (シラバス)

学科名	一級自動車整備士科				
科目名	故障探求				
履修年次	4年次	履修学期	5月～7月	授業形態	講義
総時限	3時限	単位時間数	5.4時間 (0.3単位)		
教科書等 持参品	教科書 (シャシ電子制御装置)				
教科担当	・高橋 翔太 ・上田 忠之 ・刈田 稔彦				
目的	自動車の高級化、高品質化に伴い、使用者の車に対する期待も「より静かでより快適に」といった感覚的な要求が高くなっている。自動車の商品性を決定する要因として「静粛でなければ快適でない」という概念が確立しているため、不快な振動・騒音を分析・診断し、取り除くための知識を習得し、お客様が安心して自動車に乗れるための整備技術を習得する。				
概要	項目				時限
	・事例別故障探求法				3
到達目標	運転する上で不快な振動・騒音を分析・点検・修理する知識と技術を身に付け、お客様に快適なカーライフを提供できる人材となる				
使用教材					
成績評価の方法	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～0点：1 不合格				

専門学校赤門自動車整備大学校 2019年度 授業計画 (シラバス)

学科名	一級自動車整備士科				
科目名	検査				
履修年次	4年次	履修学期	5月～7月	授業形態	講義
総時限	3時限	単位時間数	5.4時間 (0.3単位)		
教科書等 持参品	教科書(法令教材)				
教科担当	・高橋 翔太 ・上田 忠之 ・刈田 稔彦				
目的	保安基準適合性確保の点検要領を学習し、道路運送車両法の保安基準に定める保安上又は公害防止その他の環境保全上の技術基準に適合していることを的確に点検できる人材育成を行う。				
概要	項目				時限
	・保安基準適合検査 総合				3
到達目標	自動車の安全性確保、公害防止、環境保全のため道路運送車両法に精通した人材となり、基準に適合しているか否かを的確に判定できる人材となる				
使用教材					
成績評価の方法	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～ 0点：1 不合格				

専門学校赤門自動車整備大学校 2019年度 授業計画 (シラバス)

学科名	一級自動車整備士科				
科目名	工場経営				
履修年次	4年次	履修学期	6月	授業形態	講義
総時限	1時限	単位時間数	1.8時間 (0.1単位)		
教科書等 持参品	教科書(総合診断・環境保全・安全管理)				
教科担当	・高橋 翔太 ・上田 忠之 ・刈田 稔彦				
目的	自動車整備事業を行う場合に必要となる要件や関係法令、見積書の作成など、工場を運営するに当たり必要な知識は多岐にわたるため、必要な知識を習得し、将来自動車整備工場を運営できる人材育成を目的とする。				
概要	項目				時限
	・工場経営 総合				1
到達目標	将来自動車会社を開業し、自動車業界発展の中心的人材となれる知識を身に付ける				
使用教材					
成績評価の方法	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～ 0点：1 不合格				

専門学校赤門自動車整備大学校 2019年度 授業計画 (シラバス)

学科名	一級自動車整備士科				
科目名	環境保全				
履修年次	4年次	履修学期	6月	授業形態	講義
総時限	3時限	単位時間数	5.4時間 (0.3単位)		
教科書等 持参品	教科書(総合診断・環境保全・安全管理)				
教科担当	・高橋 翔太 ・上田 忠之 ・刈田 稔彦				
目的	温暖化や酸性雨、オゾン層の破壊、生活排水などに起因する水質汚濁、廃棄物の増大など、数多く抱える地球環境について理解を深め、自動車と環境の調和を図ることができる人材を育成する。				
概要	項目				時限
	・自動車と環境				3
到達目標	現在の地球環境の問題点について向き合い、将来の地球環境を考慮しながら取り組んでいく人材となる				
使用教材					
成績評価の方法	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～ 0点：1 不合格				

専門学校赤門自動車整備大学校 2019年度 授業計画 (シラバス)

学科名	一級自動車整備士科				
科目名	法規				
履修年次	4年次	履修学期	6月	授業形態	講義
総時限	3時限	単位時間数	5.4時間 (0.3単位)		
教科書等 持参品	教科書(法令教材)				
教科担当	・高橋 翔太 ・上田 忠之 ・刈田 稔彦				
目的	「道路運送車両法」「道路運送車両の保安基準」「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」等の関係法令を学習し、自動車の安全性の確保や公害防止、その他環境の保全などについて理解を深める。				
概要	項目				時限
	・道路運送車両法 総合				3
到達目標	自動車に関する様々な法令について知識を深め、各種手続きやコンプライアンス能力を向上し、自動車業界で活躍できる人材となる				
使用教材					
成績評価の方法	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～ 0点：1 不合格				

専門学校赤門自動車整備大学校 2019年度 授業計画 (シラバス)

学科名	一級自動車整備士科				
科目名	総合診断				
履修年次	4年次	履修学期	6月	授業形態	講義
総時限	2時限	単位時間数	3.6時間 (0.2単位)		
教科書等 持参品	教科書(総合診断・環境保全・安全管理)				
教科担当	・高橋 翔太 ・上田 忠之 ・刈田 稔彦				
目的	お客様の自動車が故障したときの「受付」「問診」及び「診断」の要領や要点などを学習し、基本的な接客手法と総合診断を行う上で必要不可欠となる知識を習得する。				
概要	項目				時限
	・総合診断 診断応用				2
到達目標	故障した車両を診断するときに必要な知識を習得し、故障探求を始める前に的確な方向性を見出すことができる人材となる				
使用教材					
成績評価の方法	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～ 0点：1 不合格				

専門学校赤門自動車整備大学校 2019年度 授業計画 (シラバス)

学科名	一級自動車整備士科				
科目名	図面				
履修年次	4年次	履修学期	6月～7月	授業形態	講義
総時限	2時限	単位時間数	3.6時間 (0.2単位)		
教科書等 持参品	赤門オリジナルテキスト (図面・製図)				
教科担当	・高橋 翔太 ・上田 忠之 ・刈田 稔彦				
目的	様々な記述法による図面を理解し、自動車部品などの配置や寸法、形状などを詳しく理解できる人材を育成し、自動車修理技術の向上に役立てる。				
概要	項目				時限
	・第3角法による三面図の作成				1
	・斜投影、等角投影による図面作成				1
到達目標	自動車部品の角度や寸法、自動車に取り付けられている配線や電装品の繋がりなどを分かりやすく伝えるための図面を書き出す知識と技術を身に付ける				
使用教材					
成績評価の方法	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～ 0点：1 不合格				

専門学校赤門自動車整備大学校 2019年度 授業計画 (シラバス)

学科名	一級自動車整備士科				
科目名	専門学科(国家試験対策)				
履修年次	4年次	履修学期	1月～3月	授業形態	講義
総時限	138時限	単位時間数	248.4時間 (16.5単位)		
教科書等 持参品	1級自動車 (エンジン電子制御装置) 1級自動車 (シャシ電子制御装置) 1級自動車 (自動車整備新技術) 1級自動車 (総合診断・環境保全・安全) 自動車整備士1級筆記問題と解説				
教科担当	・高橋 翔太 ・上田 忠之 ・刈田 稔彦				
目的	4年間学習してきた内容の復習及び内容の理解				
概要	項目				時限
	・国家試験の総合講義 (模擬試験等)				138
到達目標	国家試験 (登録試験) 合格できる力を身につけること。				
使用教材					
成績評価の方法	※ 定期試験の得点により 100～85点 : 5 84～65点 : 4 64～50点 : 3 合格 49～30点 : 2 29～ 0点 : 1 不合格				